

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名 藁 藁 グループホーム

日付 平成18年3月31日
特定非営利活動法人
ライフサポート

評価機関名
評価調査員 在宅介護経験9年
評価調査員 老人保健施設介護実務経験5年、居宅
支援事業所介護支援専門員経験5年、
評価調査員 介護事業経験1年、認知症相談員経験3年
評価調査員 在宅介護経験11年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

Ⅰ 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	<p>「生きている限り人間らしく」そして「その人らしく」というこのホームが目指している大きな目標に、ひたすら邁進している場面にたくさん出合った。生活リハビリのためにいっぱい準備されたメニューの中から自分に合ったものを選び、衰えかけていた さんの元気と活力の復活に拍手したい。</p> <p>もうすでに10人以上もこのホームで看取った経験もあり、今後も、本人・家族の希望があれば、終末まで共に生活出来る体制がある。このことは、ここで将来を心配することなく安心して暮らすための大きな柱になっていると思う。</p> <p>「ナマムギ、ナマゴメ、食べちゃった!!」家族も参加するという忘年会の出し物の練習中に思わず出た大笑い。色んな笑いが絶えないこの暮らしこそ、グループホームの目指すものではないだろうか。</p>		

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	<p>継続している趣味の生花や書、口も手もいっぱい動かしながら皆で作り上げた大作の共同作品のちぎり絵。これらが「私ら、ここでこんなに力いっぱい生きているよ。楽しんで暮らしているよ」と訴えてくれている。</p> <p>このホームの職員の「場づくり」への工夫からは、それぞれのお家の歴史や強い思い入れが感じられ、心が温かくなってくる。</p>		

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

外部評価の結果

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

「昔よう食べとった酢こんぶがあるよ。あんたも早よう行ってみられ」「5百円までじゃからな。ちゃんと計算してな。今日はちょうどホーム全員参加のフリーマーケットの日。一階の広いデイサービスセンターの机の上に盛られたお菓子の山を指差して、さんは私に教えてくれる。「何がいいかな?」と選んで自分の袋に入れる利用者の目はキラキラ輝いている。威勢のいいお兄さんの売り声、レジのお姉さんも皆楽しそうだ。お買物の後はグループで「お手玉」や「スカーフ投げ」等のレクリエーション。そして各ユニット毎に決めたといい弁当をいただく。

このような行事の中だけでなく、食事作りなどの家事の場、お花や習字など各階で続いている習い事や、また、忘年会の出し物の練習の場等、あらゆるチャンスを捉えて、「生活リハビリ」を仕掛けている。

緑山家、赤川家、青空家の三つの家族が居てそれぞれがユニークだ。三軒の空間だけでなく利用者の職員の個性がたっぷり感じられる。職員との会話も面白い。気遣いの中に、的確で切れ味のいいやり取りがあり、共にここでの暮らしを楽しんでいる風だ。孫息子のような男性職員も多く、利用者の年齢に近い職員も居て、この職員の年齢構成の幅の広さが「和気あいあい」の雰囲気を手にもかもし出している。

特に改善の余地があると思われる点 次のような提案をした

利用者の出来る能力を維持、向上させようとする働きかけは、とても素晴らしいと思う。この事に今少し工夫をこらし智恵を絞れば「自己決定や本人の希望の表出」が大きくクローズアップできるのではないか。例えば、「今回は緑山家のさんがスタッフと一緒に菓子を選んで、さんが進行役をやってみよう」等。出来る人にはもう少し「主役」を演じてもらい、「たより」で紹介する等、スポットライトを当ててみてはいかがだろうか。

個人の記録が一目で分かるように工夫されておりとても良い。更に次のステップとして利用者の気持を、例えば、「さんのつづがやきはどんな状態の時?」「どうしたいのか?」「対応は?」「私はこう思う」等メモして共有し、紙上の意見交換の場を作ってほしいと思います。

地域へこのホームの持てる資源を還元して欲しい。利用者の負担にならぬ範囲で「ボランティアの受け入れ」「町内活動への参加」「地域の人との交流」を増やしてほしいかがでしょうか。

Ⅲ ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物への支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	<p>その人の力が目一杯発揮出来るチャンスや誘いかけがいっぱいある。書道にあまり興味がなかったのに、周りの人につられて楽しむようになった人。今まで全く縁がなかったちぎり絵を「これは、面白いよ」という男性。野菜の下拵えになると俄然はりきり人等、共に楽しみながら生き生きと暮らしている。</p> <p>「皆でやろう」という行事の中にも、個人の自由も十分尊重されていて、我が道を行く利用者が居る。それでよし!!という感じだ。</p>		

Ⅳ 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	<p>昨年の職員の入れ替わりが気になっていたが、「新風を吹き込んで」というプラス思考で、飛躍のステップにしている。今後は職員の心のケアも考えていきたいという話も聞いた。職員の内側を読み取るのは、認知症の人の得意技だから、余計に気をつけたい。</p> <p>職員と利用者と一緒に何かがやっている時間の多さを、私は一つのバロメーターにしている。このホームでは、できる省力化を考え、少しでも多く利用者にかかわろうとしている。私がホームに入るなら、こんな所がいいな、と思う。</p>		